

居谷真理子  
三二句集

## 略歴

居谷 真理子（いたに まりこ）

2000年

川柳塔社 同人

存分に狂うて満開の桜

いつか死ぬそう思えばみな喜劇

辛い夜は胎児の形して眠る

花が降る二人を少し狂わせて

みな独り歩幅合わせてみな独り

青春の輝きあれは割れガラス

あアあアと泣く一人だし酔ってるし

本物の銃でないからすぐ飽きる

してはならぬ我慢ばかりをして汚れ

道化者十五で泣いたあの日から

踏みつけてみても卑怯の柔らかさ

肩書きはにんげん文句ありますか

ほほえんで下さい

開きたいのです

虹はすぐ消えて豆腐と葱を買う

老人ホームみんな母から生まれた子

誕生日汚れた海を見て帰る



一枚の布を男は旗と呼ぶ

人の世に縛られたくて腕時計

電球のあかり 愛のようなもの

飛んだのよ紙飛行機もわたくしも

消えそうな母と大きな虹を見る

ここでなら泣けるこの樹の下でなら

サワルナツ　コレハワタシノ悲シミダ

不眠症きつと死ぬのも下手だろう

古日記かほど私は愛された

空がいい行方不明になるのなら

ライバルはひよいと跨いださて私

銀色のあれは悲しみだったもの

からっぽの手の平息を吹きかける

巧すぎる男で贗作者になった

本を読む発光体になっている

鬪えと爪愛せよと髪が伸び

幸運の女神は意地悪な老婆

少年よ五月の空を打ち鳴らせ

ぼんやりとしてたら銃を持たされる

人間ですごい泣いたあと笑う

ゼロですがひよいとねじれば無限大

真心のやるせなさ知る一円貨

へのへの顔で見ている昼の月

しょうがない男で今日もピーヒョロロ



髪を梳くそりやあいつかは死ぬけれど

酒で消す火もあるちろちろ鳴いている

また来たか淋しいのかとカバが言う

雨なんか降るから君が好きになる

マッチ一瞬あかるいあたたかい

砕け散ってこれがコップの答です

愛したら花火になれたのに菊よ

友が逝く腹の底から寒気団

細胞の一つ一つに先祖様

目覚めれば光あふれているこの世

居谷真理子ミニ句集

発行人 居谷真理子

編集所 川柳塔社 WEB サイト

<http://senryutou.net>